

報道発表資料の配付日時 7月5日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	エイナリ表彰の受賞について ～北森カレッジにおけるオペレーター養成プログラムの開発～		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 趣旨 北海道立北の森づくり専門学院(略称:北森カレッジ)では、高性能林業機械の操縦技術について体系的な教育プログラムを開発するため、フィンランドのエイナリ・ヴィドグレン基金の助成金に応募し、エイナリ表彰を受賞しました。(令和元年5月21日付けで発表)</p> <p>2 内容 (1) 受賞内容 日本初のシミュレータを活用した本格的なハーベスタ・オペレーター養成プログラムの開発(詳細は、別紙1のとおり) (2) 助成金の額 6,000ユーロ</p> <p>3 今後の取組 助成金を活用し、フィンランドからオペレーター教育の専門家を招聘するなどして、北森カレッジの開校に向けて、北海道独自のハーベスタ・オペレーター養成プログラムを開発する予定</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	水産林務部林務局林業木材課北の森づくり専門学院準備室(担当者:小笠原) TEL ダイヤルイン 011-206-6579 内線 28-556		
-------------	---	--	--

エイナリ・ヴィドグレン基金について

令和元年7月5日
北海道水産林務部林務局林業木材課
北の森づくり専門学院準備室

1 エイナリ・ヴィドグレン基金について

フィンランドの世界的な林業機械メーカーPonsse 社の創設者である Einari Vidgrén が、林業の木材収穫分野における機械化の社会的評価を高めることを目的として、2005 年に EinariVidgrén 財団を設立。

財団では、木材収穫を機械化する事業の起業意識を高めるとともに、若者たちが木材収穫の職場に魅力を感じることができるよう、木材収穫の機械化に貢献した者や、積極的な研究開発、トレーニング・プログラム開発などの関係者に賞を授与するほか、林業機械分野を学ぶ学生に奨学金を支給している。

本年3月に北海道の訪問団がフィンランドの Ponsse 社を訪れた際、先方から応募について提案があり、今回の受賞につながったもの。

2 今回受賞したプロジェクトの提案の概要

道立北の森づくり専門学院でハーベスタ・オペレーターを養成するため、シミュレータを導入し、日本初となる本格的なオペレーター養成プログラムを開発

- ・フィンランドから専門家を招聘し、北海道の状況やニーズに合わせて、シミュレータ訓練プログラムの設定をカスタマイズ
- ・学院の専任教員をフィンランドに派遣し、シミュレータによる教育方法やハーベスタ・オペレーターのための教育プログラムを習得

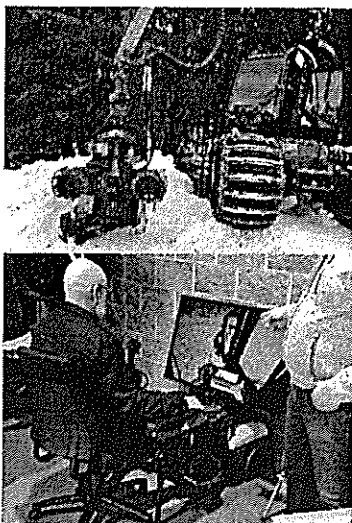
3 審査結果

エイナリ表彰 6,000 ユーロ

採択理由

- ・カリキュラムの作成において、ハーベスタ・オペレーターのためのトレーニング・プログラムを開発することを高く評価します。特に、シミュレータを使ってハーベスタ・オペレーターを養成するための本格的なカリキュラムを提供する日本初の教育機関となることは評価に値します。

【参 考】



ハーベスタとは

- ・樹木の伐倒、枝払い、玉切りの作業を1台で行う林業機械。ヘッドには計測器が装着され、材の長さや直径、位置などのデータを即座に取得できる。ICT林業の中心となる機械。

シミュレータ

- ・ハーベスタによる伐倒、玉切りをCGで再現。樹種や傾斜など条件の変更も可能。
- ・フィンランドの林業専門学校では、基本操作の習得を行うため、段階的なプログラムが組み込まれたシミュレータを教育に積極的に導入。